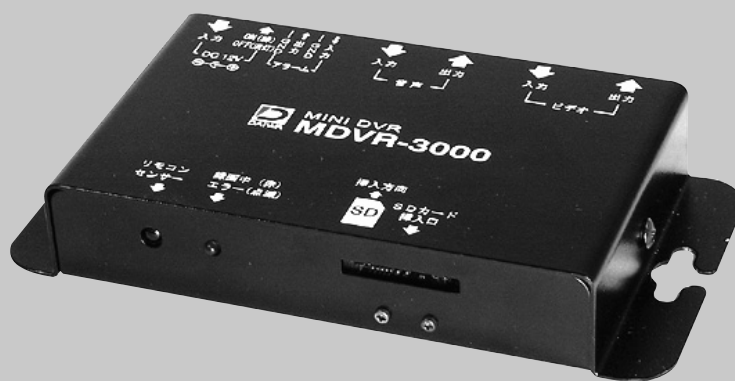
MINI DVR システム
（DC12V）

MDVR-3000
取扱説明書

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、必要なときに読めるように大切に保管して下さい。

●安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用いただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。

●表示マークについて●

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	🛇	禁止の行為を伝えるものです。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定されます。	❗	強制の内容を伝えるものです。

⚠ 警 告

🛇	取付け場所などを移動するときは、必ずすべての電源を切った状態で線をはずしてから移動してください。
🛇	本製品は精密機械ですから分解したり、改造しないでください。故障の原因となります。
🛇	電源コード類を傷つけたり加工したり、引っ張らないでください。電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。
❗	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合はすぐに電源を切り、電源プラグを持ちコンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

🛇	内部の点検、調整、修理は販売店にご相談ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
🛇	設置工事による事故や障害が生じた場合は当社では責任を負えません。専門技術者による施工をご依頼するようおすすめいたします。
🛇	重いものをのせたりすると本製品が破損し、火災、感電の原因となります。
🛇	ぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

■ ご注意

はじめに

SD カードビデオレコーダー『MDVR-3000』は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画することを目的とした装置ですが、全ての映像を録画することを保障したものではありません。状況によっては映像を自動的に録画できないこともあります。弊社では映像が録画されなかった時の責任は一切負いません。本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するものではありません。本製品で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はご注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。

安全上の注意

本製品は国際的な安全基準を満たしています。 お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次に説明します。

1. 正規の電源を使用してください。指定された電圧(DC12V)を越えるものを供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
2. 『MDVR-3000』に金属などの異物を差し込むと感電する場合があります。
3. 濡れた状態または埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。
4. 本製品は防水仕様ではありません。屋外では防水ハウジングに入れてお使いください。万一水がかかった場合は、すぐにコンセントを抜いて販売店にご連絡ください。
5. 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
6. 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおいのする場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
7. トップカバーをはずして使わないでください。
8. 警告:トップカバーをはずすと電気的異常をきたす恐れがあります。
9. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
10. 万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
11. 本体にはあらかじめリチウム電池を装填しています。電源を切った後、タイム表示が正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

免責事項

1. 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
2. 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
3. 別売りの SD カードなど消耗品に関しましてのトラブルは、弊社は一切の責任を負いません。消耗品のお買い上げ販売店にご依頼ください。
4. 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。

必ずお守り下さい

1. SDカードはSANDISK製SDカードを推奨しております。他のメーカーのSDカードでは相性上互換性がなかったり、製品開発の上ですべてのSDカードで検査が行われているものではありません。
2. SDカードを再生のために取り出すときは録画が停止している状態(ステータス LED が消灯)で行ってください。SDカードは静電気に弱い製品で、消耗品です。

CONTENTS

■ 特長

- 960H（960×480）解像度の録画に対応。
- 素早い起動（電源投入後5秒以内に起動）。
- LED表示により、録画状態の確認が容易。
- PCで再生する場合、パスワードプロテクトを設定する事で、再生可能なユーザーを限定する事が可能。
（設定しない場合は、AVI形式なので、Windows Media Player など汎用Playerでの再生が可能。）
- 常時、イベント、手動の各録画モードで個別に解像度、フレームレート及び画質を設定可能。
- モーション検知範囲やレベルの設定が可能。
- イベント録画では、0～10秒のプリ録画設定が可能。
- 録画ファイル名が撮影日時と録画モードで付けられているので、PC での確認が容易。
- 128GBまでのSDカードに対応。

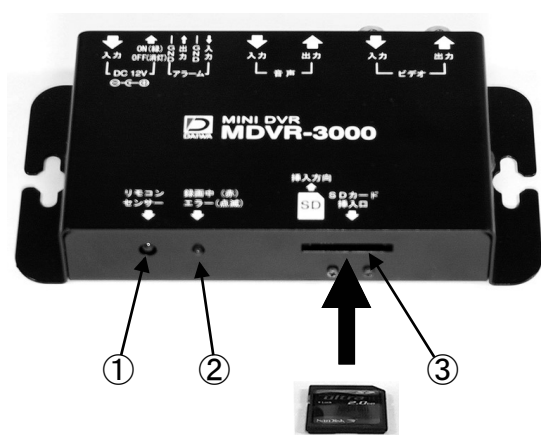
■ 仕様

仕様		
品番		MDVR-3000
映像	入力	BNC x 1
	出力	BNC x 1
音声	入力	RCA-J x 1
	出力	RCA-J x 1
I/O	センサ入力	無電圧接点(N.O,N.C 切換可) x 1
	アラーム出力	オープンコレクタ出力 x 1 (モーション検出)
録画メディア	SD カード	1GB～32GB（SDHC）、64GB～128GB（SDXC）
録画	映像圧縮方式	H.264
	解像度/フレームレート	960 x 480 , 720 x 480 , 360 x 240 / 1～30fps
	モード	常時、イベント、スケジュール、手動. 上書き、停止
	モーション検出	範囲及び感度設定可
再生	機能	再生、早送り、コマ送り、早戻し、コマ戻し、一時停止
	スピード	x1/ x2/ x4/ x8/ x16/ x32
表示	LED（赤色）	録画状態表示 点灯 ： 録画中及び待機中。 点滅 ： SD カード異常、未挿入及びフォーマット中。 消灯 ： 録画停止中。
電源	入力	DC12V
	消費電力	1.9W
動作環境		30～80%RH、-10～+50℃
外形寸法 ／ 重量		150(W) x 75(D) x 25(H)mm / 285g
付属品		AC アダプター、リモコン

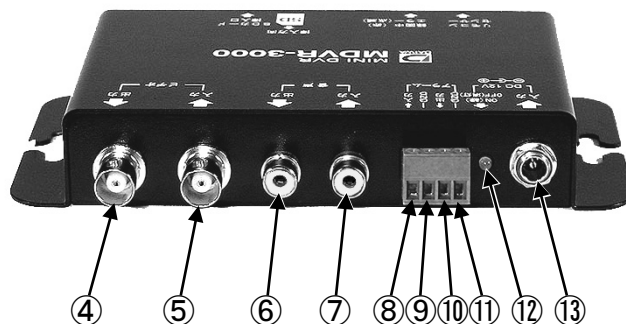
【内容物をご確認下さい。】

① MDVR-3000 (本体)　② AC アダプタ　③ リモコン

〔注〕 SD カードは付属しておりません。

■ 各部の働き

【前　面】

〔注〕SD カードは付属しておりません

【背　面】

① リモコンセンサ　：リモコン受光部。リモコンはここに向けて操作して下さい。

② ステータスLED　：機器の動作状態を示します。
点灯＝録画中
点滅＝SD カードエラー時、SDカードフォーマット中
消灯＝録画停止時

③ SDカード挿入口　：SDカードを挿入して下さい。挿入方向はSDカードの印刷面を上にして挿入して下さい。

④ ビデオ出力　：映像出力端子　BNC-J

⑤ ビデオ入力　：映像入力端子　BNC-J

⑥ 音声出力　：音声出力端子　RCA-J

⑦ 音声入力　：音声入力端子　RCA-J

⑧ アラーム入力　：アラーム入力による録画を行う場合はターミナルブロックにセンサを接続します。
N.O.、N.C.切替可能です。無電圧接点と接続して下さい。

⑨ GND　：GND端子

⑩ アラーム出力　：モーションを検知時にアラームを出力します。オープンコレクタ出力。
絶対最大定格：電圧DC30V　電流 50mA

⑪ GND　：GND端子

⑫ 電源LED　：電源をONにすると緑色点灯します。

⑬ 電源入力端子　：電源入力します。付属のACアダプタを接続して下さい。

1. リモートコントローラ、レコーダの説明

本レコーダの設定はすべてリモートコントローラで行います。

図 1. リモートコントローラ

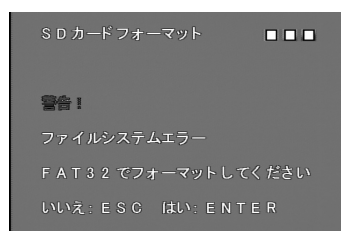
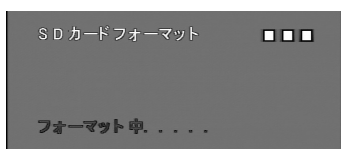
表 1. リモートコントローラ機能一覧

ボタン	機能
再生・一時停止	ライブ画面時：録画再生画面へ移動 録画再生時：再生、一時停止
戻る・停止 ESC	メニュー設定時：前画面へ戻る 手動録画時：録画停止 録画再生時：再生を停止し、録画検索画面へ戻る
録画	ライブ画面時：手動録画開始 録画検索時：10 ファイル送り
OSD 表示切替 OSD	ライブ画面時：OSD 表示、非表示切替 録画検索時：10 ファイル戻し
MENU ENTER	ライブ画面時：メニュー画面に移動 メニュー画面：サブメニュー画面へ進む 録画検索時：再生
音量+	ライブ画面時：音量アップ メニュー画面：上に移動 録画検索時：日付選択 録画再生時：音量アップ
音量-	ライブ画面時：音量ダウン メニュー画面：下に移動 録画検索時：日付選択 録画再生時：音量ダウン
早送り	メニュー画面：設定変更 録画再生時：倍速再生（再生時）、コマ送り（一時停止時） 録画検索時：ファイル選択
早戻し	メニュー画面：設定変更 録画再生時：倍速逆再生（再生時）、1 秒戻し（一時停止時） 録画検索時：ファイル選択

1-1 起 動

(1) 電源 ON の 5 秒後にシステムが立上り、ステータス LED が点滅しますので SD カードを挿入して下さい。

〔注〕 **SD カードが書き込み禁止になっていないか確認して挿入して下さい。**

〔注〕 **SD カードが FAT32 でフォーマットされていない場合には、以下の手順でフォーマットしてください。**

フォーマットされてない場合は、左図の画面が表示されます。リモートコントローラの**"MENU ENTER"**ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

フォーマットが開始されるとサブメニューが表示されます。
（ステータス LED は点滅。）
この画面が消えるとフォーマットは完了です。
"ESC"ボタンを 2 回押すと、ライブ画面に戻ります。

〔注〕 **フォーマット中は SD カードを抜かないで下さい。 SD カードが故障する恐れがあります。**

(2) SD カードが本レコーダに認識されるとステータス LED が点灯に変わり、初期状態では、自動で常時録画が開始されます。 ステータス LED が点滅し続けている場合は、カードの挿入状態を確認して下さい。

(3) 電源が OFF され、再度電源が ON された場合は、自動で電源 OFF 前の録画モードで録画を開始します。

(4) 下記手順で、リモートコントローラのキーロック及び解除が行えます。
ロック:**“ESC”**、**“ESC”**、**“OSD”**　　解除:**“OSD”**、**“OSD”**、**“ESC”**

〔注〕　録画中や初期化中に SD カードを抜かないで下さい。 (録画停止状態で SD カードを抜いて下さい。)

〔注〕メインメニューを表示させると録画を停止できます。

〔注〕　64GB、128Gに対応している SDXC カードのフォーマットは本機で行ってください。
購入直後の製品を使用する場合や WINDOWS　PC 等で FAT32 形式以外でフォーマットした場合は、
ファイルシステムエラーが表示されますので、本機でフォーマットして使用してください。

1-2 ライブモニタ

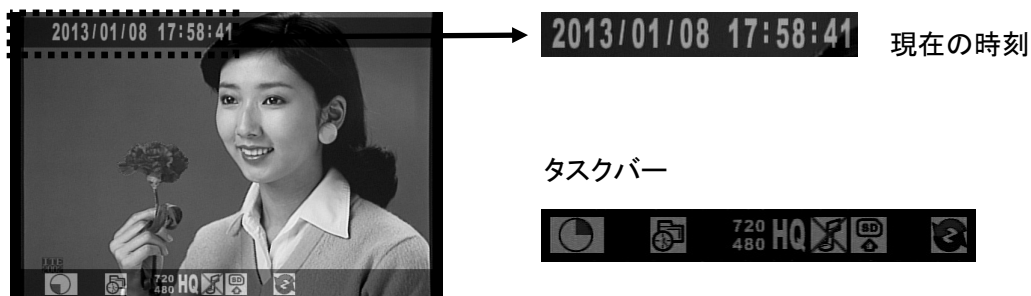



図 2. ライブ画面

(1) システムが立ち上がると自動でライブモードになります。

(2) **“OSD”**ボタンを押すと現在の時刻表示及びタスクバーの表示、非表示を切り替える事ができます。

(3) タスクバーの内容を下記に示します。

表 2.タスクバー機能一覧

録画状態	：録画中。 この表示が無い時は、録画が停止しています。
録画モード	：常時録画　：イベント録画(モーション) ：手動録画　：イベント録画(センサ) 設定によってマークが変わります。
録画解像度	960/480 ：960x480ピクセル時　720/480 ：720x480ピクセル時 360/240 ：360x240ピクセル時　設定によってマークが変わります。
録画画質	HQ ：最高画質　NQ ：高画質　BQ ：標準画質 設定によってマークが変わります。
録音	：録音　：録音しない 設定によってマークが変わります。
SDカード状態	：SDカード正常　：SDカード異常または、未挿入
上書き録画	：上書き録画中　94% ：上書き録画停止中(SDカードの残量表示)
ロック	：ロック中。 この表示が無い時は、ロックが解除しています。

※上書き録画停止中で、SD カード残量がなくなった時には、“SD カードフル”が表示されます。

1-3 設 定

ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタン押すとメインメニューが表示されます。 設定は値を変更した後、すぐに反映されます。設定画面からライブ画面に戻るには**“ESC”**ボタンを押します。 初期録画設定から変更しない場合は、設定は不要です。

1-4 録 画

本レコーダには、4つの録画モード（常時、イベント、スケジュール、手動）が有ります。 常時とイベント録画は、同時に使用する事により、録画品質を分けて録画時間を節約する事が可能です。 図 3 の**“録画設定”**を選択し、**“MENU ENTER”**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、それぞれの録画モードの設定を行います。前の画面に戻るには“ESC”ボタンを押します。

各モードの設定表示
（記号の意味については
表2参照）

各モードの設定箇所
（選択して“MENU ENTER”
ボタンを押します）

図 3.サブメニュー(録画設定)

設定項目の解像度、フレームレート、画質及び音声設定については、全録画モード共通です。

解像度　：　960 x480,720x480, 360x240 から選択
フレームレート　：　1, 2, 4, 7,10, 15, 20, 30fps から選択
画質　：　最高、高、標準から選択（画質は最高>高>標準）
音声　：　音声録音の OFF,ON から選択

**〔注〕　メインメニューや録画再生している期間は、録画が停止していますので、注意して下さい。
ステータス LED が消灯します。**

(1) 常時録画

図 4.サブメニュー(常時録画設定)

システムが起動した後、自動で録画を開始し、
電源 OFF されるまで継続します。
スケジュール録画を行う時は、常時録画とイベント録画両方を
OFF にします。

(2) イベント録画

モーション検知や外部センサ検知で録画を開始します。
イベント前記録時間及びイベント後記録時間で設定した期間、録画を行います。
モーションとセンサ両方を検知して、録画する設定も可能。 スケジュール録画を行う時は、両方を OFF にします。

イベント 録画設定
モーション : OFF
センサー : OFF
解像度 : 720x480
フレームレート : 04 FPS
画質 : 高
音声 : OFF
イベント 前記録時間 : 5
イベント 後記録時間 : 10

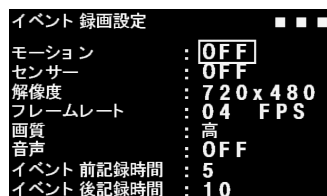



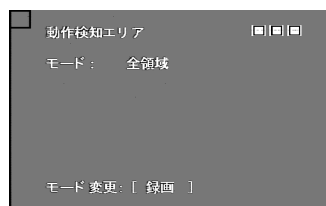
図 5.サブメニュー(イベント録画設定)

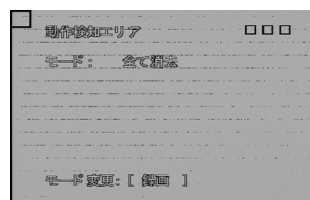
イベント前記録時間　：　イベントが発生する直前の記録時間です。
0～10 秒の範囲で設定可能です。
イベント後記録時間　：　イベントが発生した直後の記録時間です。
5～90 秒の範囲を 5 秒単位で設定可能です。

(a) モーション

モーション範囲や感度は、メインメニュー **“動作検知設定”**の**“エリア設定” “感度設定”**で行います。

図 6.サブメニュー(動作検知設定)

① エリア設定

全領域選択時

オレンジ色で表示されている箇所は、モーションを検知するエリアです。

全領域未選択時

灰色で表示されている箇所は、モーションを検知しないエリアです。

図 7.サブメニュー（動作検知エリア）

範囲選択のモードは以下の種類で、**"録画"**ボタンで切り替え、**"MENU ENTER"**ボタンで決定します。

全領域 ： 全領域をモーション検知領域として設定します。

セル編集 ： セル単位で検知領域を設定します。

ブロック消去 ： 検知領域からブロック単位で検知領域を削除します。 **"MENU ENTER"**ボタンを押すと検知領域が青く表示されるので、範囲を選択し、**"MENU ENTER"**ボタンを再度押して削除します。

全て消去 ： 検知領域をすべて削除します。

ブロック追加 ： 未検知領域にブロック単位で検知領域を追加します。

② 感度設定

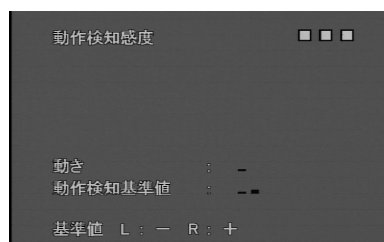



図 8.サブメニュー（動作検知設定）

モーションを検知する感度を設定することができます。
動きに現在の動きの大きさがリアルタイムに表示されます。
動作検知基準値は、モーションを検知するレベルを表しており、**動き**が**動作検知基準値**を超えた時、イベント録画（モーション）されます。 動きは大きくなるほど目盛りが多く表示され、動作検知基準値が高くなる（動作検知感度が下がる）設定ほど目盛りが多く表示されます。

(b) センサ

外部センサの種類を設定します。メインメニューで**システム設定**の**アラーム入力**で **N.O.**又は **N.C.**を選択します。

〔注〕 本レコーダのアラーム入力には、電気信号を印加しないで下さい。

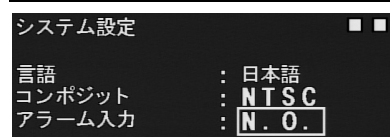



図 9.サブメニュー（システム設定）

N.O.：接点が通常オープン、アラーム時クローズ（初期値）
N.C.：接点が通常クローズ、アラーム時オープン

〔注〕 言語、コンポジットは変更しないで下さい。

(3) スケジュール

図 10.サブメニュー（スケジュール録画設定）

指定した時間内で常時、イベント録画を行います。設定する時刻で録画モードを選択します。**ALL** は、すべての録画モードが有効になる設定です。

〔注〕 常時、イベント録画を OFF に設定しないと設定項目が表示されません。

(4) 手動録画

リモートコントローラの**"録画"**ボタンを押すと録画モードに関わらず、すぐに録画が開始します。
手動録画を終了するには、手動録画中に**"ESC"**ボタンを押します。

1-5 日 時

日時を設定する事ができます。 メインメニューの**日時設定**を選択し、**“MENU　ENTER”**ボタン押すと、図 11 の
サブメニューが表示されるので、日時や表示形式の設定を行います。前の画面に戻るには“ESC”ボタンを押します。

日時設定　■ ■
日付の形式　:　Y / M / D
年　:　12
月　:　06
日　:　21
時間　:　11 : 03 : 19
サマータイム　:　OFF

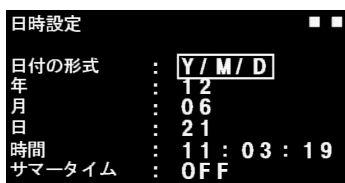



図 11.サブメニュー(日時設定)

日付の形式　: Y(年)/M(月)/D(日)、D/M/Y、M/D/Y　から選択可能。
年　: 西暦で入力します。 月 : 月　、日 : 日を入力します。
時間　: 時間を入力します。 時間 : 分 : 秒。
サマータイム　: OFF で使用します。 **※変更しないで下さい。**

1-6 SDカードオプション

録画ファイルサイズの最大値、上書き設定及びフォーマットを行う事ができます。 メインメニューの
SD カードオプション を選択し、**“MENU　ENTER”**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、
上記設定を行います。また、ディスク容量及びディスク残り容量も確認する事ができます。
前の画面に戻るには“ESC”ボタンを押します。

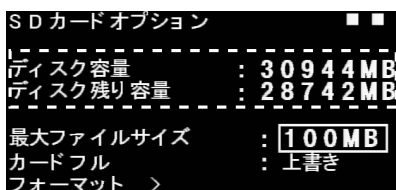
ディスク容量　:　30944MB
ディスク残り容量　:　28742MB

ディスク容量　：SDカードの全体容量
ディスク残り容量：SDカードの残り容量

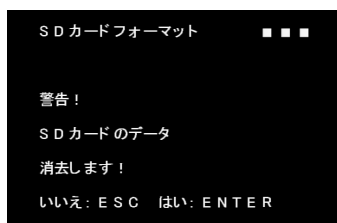
図 12.サブメニュー(SD カードオプション)

(1)　最大ファイルサイズ

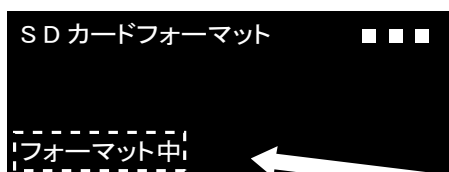
録画ファイルサイズの最大値を設定します。 3, 10, 20, 50, 100MB から選択します。（初期値 : 100MB）
ファイルサイズを小さくすると録画ファイルの数が多くなります。

(2)　カードフル

SD カードの残り容量が無くなった時の動作を設定します。 上書き、停止から選択します。（初期値 : 上書き）

〔注〕　停止を選択すると SD カードの残り容量が無くなった時点で録画を停止しますので、通常は上書きのままご使用下さい。

(3)　フォーマット

SD カードをフォーマットする事ができます。 図 12 でフォーマットを選択し、**“MENU　ENTER”**ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、フォーマットする場合は、**“MENU　ENTER”**ボタンを、キャンセルする場合は、**“ESC”**ボタンを押します。フォーマットが開始されると図 13 のサブメニューが表示されます（ステータス LED は点滅）。 この画面が消えて図 12 に戻ると完了です。

図 13.サブメニュー(SD カードフォーマット)

フォーマット中

〔注〕フォーマット中は SD カードを抜かないで下さい。
SD カードが故障する恐れがあります。

サブメニュー(SD カードフォーマット)

1-7 再　生（本体）

録画データをレコーダ本体で再生する事が可能です。 簡易再生と検索再生があります。

〔注〕再生中は、録画が停止します。

ここに再生の状態が表示されます。

図 14.再生画面

：再生（**“再生・一時停止”**ボタンを押します）

2X：早送り（x2/ x4/ x8/ x16/ x32）（**“早送り”**ボタンを押します）

2X：早戻り（x2/ x4/ x8/ x16/ x32）（**“早戻り”**ボタンを押します）

：コマ送り（一時停止中に**“早送り”**ボタンを押します）

：コマ戻し（1秒戻し）（一時停止中に**“早戻り”**ボタンを押します）

：一時停止（再生中に**“再生・一時停止”**ボタンを押します）

再生を終了するには “ESC” ボタンを押します。

ボタンについては、**1. リモートコントローラ**の表1を参照して下さい。

1-8 簡易再生

ライブ画面で**“再生・一時停止”**ボタンを押すと最終録画ファイルが自動で再生されます。 ファイルの再生が終わると一番古い録画ファイルから順次自動で再生されます。 再生を終了するには、**“ESC”**ボタンを押します。

1-9 検索再生

検索再生は、ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタンを押し、メインメニューを表示し**検索/再生**を選択します。
表示された**検索/再生**サブメニューで録画ファイルの日付や時間を選択し、**“MENU　ENTER”**ボタンを押すと再生が開始します。再生を終了するには、**“ESC”**ボタンを押します。もう一度**“ESC”**ボタンを押とライブ画面に戻ります。

図 15.検索再生画面

5 日以上は次のページになります。現在のページ/合計ページ数です。

〔注〕ファイル数ではありません。

ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタンを押すとメインメニューが表示されます。 検索/再生に合わせて**“MENU　ENTER”**ボタンを押します。 検索/再生サブメニューが表示され、日付毎に格納させている録画ファイル数が表示されます。 ▲▼ ボタンで再生したい日付を選択すると、選択している日付のファイルが表示されます。
時間ファイルの選択で 1 ファイルずつ移動する時は ▶▶ ◀◀ ボタンを、10 ファイルずつ移動する時は ● OSD ボタンを押します。
再生を開始する録画ファイルを選択し、“MENU ENTER”ボタンを押すと再生が開始します。
再生を終了するには、“ESC”ボタンを押します。もう一度“ESC”ボタンを押すとライブ画面に戻ります。
検索/再生画面の記号は、下記を示します。

: 常時録画データ　　: 手動録画データ　　: モーション録画データ

: センサ録画データ　　: イベント前録画データ

1-10　パスワードプロテクトの設定（オプション）

SD カードに記録した録画ファイルを PC で再生する際に、特定のユーザーしか再生出来ないように
4 桁のパスワードを設定できます。（パスワードを設定しない場合は、誰でも再生する事が出来ます。）
パスワードの設定方法は、メインメニューの**システム設定**を選択し、**“MENU　ENTER”**ボタン押すと、
図 16 のサブメニューが表示されるので、▲ ▼ ボタンで**パスワード**の項目を選択します。 ▶▶ ◀◀
ボタンで、希望する数値に設定します。 同様に、▲ ▼ ボタンで次の桁を選択し、▶▶ ◀◀ ボタンで
数値を設定します。パスワードを設定した場合は、PC 再生の際、そのパスワードが必要となります。
初期値の[0000]はパスワード未設定でプロテクトが掛かっていない状態です。

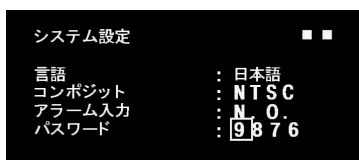
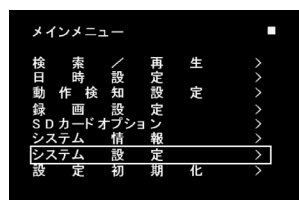



図 16　パスワード

〔注〕 SDカード内の録画データを直接またはPCにコピーし、CDやDVDに書き込んだ後にそのCDやDVDを再生する場合、FileListerを起動してパスワードを入力しても左メッセージが表示されWindowsMediaPlayerでは再生できません。パスワードを設定していない(0000のまま)場合は問題無く再生できます。SDカードやUSBメモリにコピーしたデータは問題なく再生できます。

1-11　PC で再生の場合

SD カードリーダ付きの Windows PC で録画ファイルを再生する事ができます。SD カードを本機から抜く場合は、メインメニューを表示、または再生モードにして録画停止した状態（LED 消灯）で行ってください。

録画ファイル名には下記規則が有ります。

西暦，月，日 - 時間，分，秒，録画された時の録画モード

録画モードは、**MA**：手動、 **MO**：イベント（モーション）、 **AL**：イベント（センサ）、**PA**：イベント前録画、 **CO**：常時

(例：20120621-201125CO　常時録画モードで録画された 2012 年、6 月 21 日、20 時 11 分 25 秒のデータ)

A.　パスワードプロテクトを設定していない場合

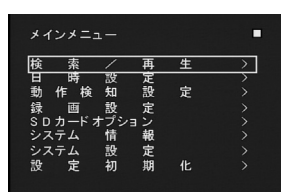
(1) 準備　SD カードを本レコーダから抜く為に録画を停止します。
ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタンを押し、メインメニュー画面を表示すると録画が停止します。

メインメニューが表示されている時、
録画停止状態です。

図 17. メインメニュー（録画停止）

(2) カメラ前面のステータス LED が消灯している事を確認して本レコーダから SD カードを抜きます。

(3) SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。

(4) SD カード内の録画フォルダ（DVH264）を開き、再生を行うファイルをクリックすると Windows PC の Windows　Media Player で再生されます。

B. パスワードプロテクトを設定している場合

パスワードプロテクトを設定した録画ファイルはそのままでは PC の Windows Media Player では再生する事が出来ないため、専用のソフトウェア(FileLister)を使用する必要があります。 FileLister の入手に関しましては、弊社営業までお問い合わせください。
上記 **A.(1)～(3)**の操作を行い、SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。

(4) 使用されている PC の Windows OS の 32bit 又は 64bit に合わせて、FileLister32.exe 又は、FileLister64.exe を起動します。

(5) SD カード内の録画フォルダ(DVH264)を開きます。 データが多い場合は、全ファイルが表示されるまでに数十秒かかりますのでしばらく待ちます。

図 17. FileLister 起動画面

(6) 再生を行うファイルを選択して[再生]ボタンをクリックします。

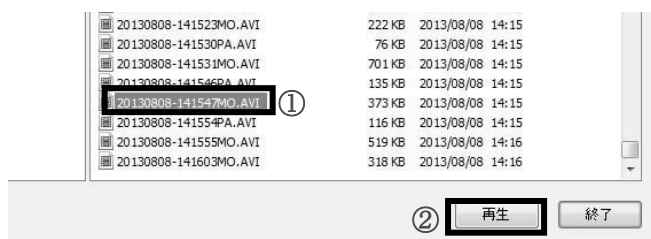



図 18. 再生ファイル選択

(7) パスワードチェックの入力画面が表示されますので、パスワードを入力し[再生]ボタンをクリックします。
[すべてのファイルに適用]にチェックを入れるとファイル選択時にすべてのファイルにこのパスワードが適用されますので、1 回 1 回パスワードを入力する必要がなくなります。

図 19. パスワード入力画面

1-12 アラーム出力(モーション検知信号出力)

設定している録画モードに関らず、画面に動きがあった時(モーション検知時)アラームを出力します。
検出範囲及び感度は、「動作検知設定」で設定します。 P.8 (2)イベント録画 (a)モーションを参照して下さい。

オープンコレクタ出力で、**モーション検知時**:L **モーション未検知時**:Hi-Z となります。
アラーム出力端子に DC30V より大きい電圧を印加しないで下さい。 また、アラーム出力端子に 50mA より大きい電流が流れないように接続して下さい。

1-13 初期化

本レコーダを初期設定に戻す事ができます。ただし、日時設定は初期化されません。図 20 のメインメニューで **設定初期化** を選択し、設定初期化のサブメニューを表示した状態で、**“MENU ENTER”**ボタンを押すと設定が初期化されメインメニュー画面に戻ります。キャンセルする場合は**“ESC”**ボタンを押します。

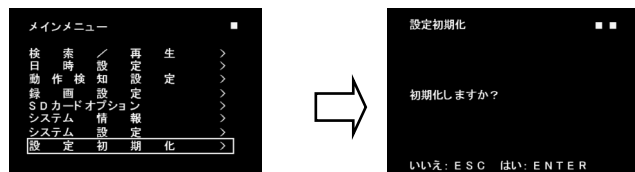



図 20. 設定初期化

1-14 情 報

本レコーダのシステム情報を確認する事ができます。〔注〕この項目では、設定は行えません。

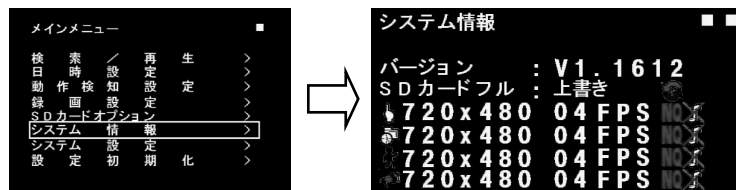



図 21. システム情報

バージョン	ソフトウェアのバージョンを示しています。
SDカードフル	SDカードの上書き状態を示します。
録画設定一覧	：常時録画の設定一覧行　：イベント録画（モーション）の設定一覧行 ：手動録画の設定一覧行　：イベント録画（センサ）の設定一覧行
解像度	960x480、720x480、360x240
フレームレート	1、2、4、7、10、15、20、30 fps
画質	HQ：最高画質　NQ：高画質　BQ：標準画質
録音	：録音　：録音しない

■ 録画時間目安表

SDカード　32GB使用時の録画目安表（単位：時間）

解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
960x480	最高	21	38	64	88	107	153	157	162
	高	32	58	97	132	160	229	236	243
	標準	48	87	145	198	240	344	354	364
720x480	最高	28	51	86	117	142	204	210	216
	高	43	78	129	176	213	306	315	324
	標準	64	116	194	265	320	459	472	486
360x240	最高	51	92	156	211	258	367	378	388
	高	67	121	201	274	334	466	492	505
	標準	87	157	262	357	436	620	638	657

SDカード　64GB使用時の録画目安表（単位：時間）

解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
960x480	最高	41	74	124	169	206	294	302	311
	高	62	111	187	254	308	441	453	467
	標準	93	167	279	381	463	661	681	700
720x480	最高	55	99	165	225	274	392	403	415
	高	82	148	249	339	411	588	604	622
	標準	124	223	373	508	618	882	908	933
360x240	最高	99	178	298	406	495	705	726	747
	高	129	231	388	529	643	918	944	970
	標準	168	301	505	687	840	1192	1227	1262

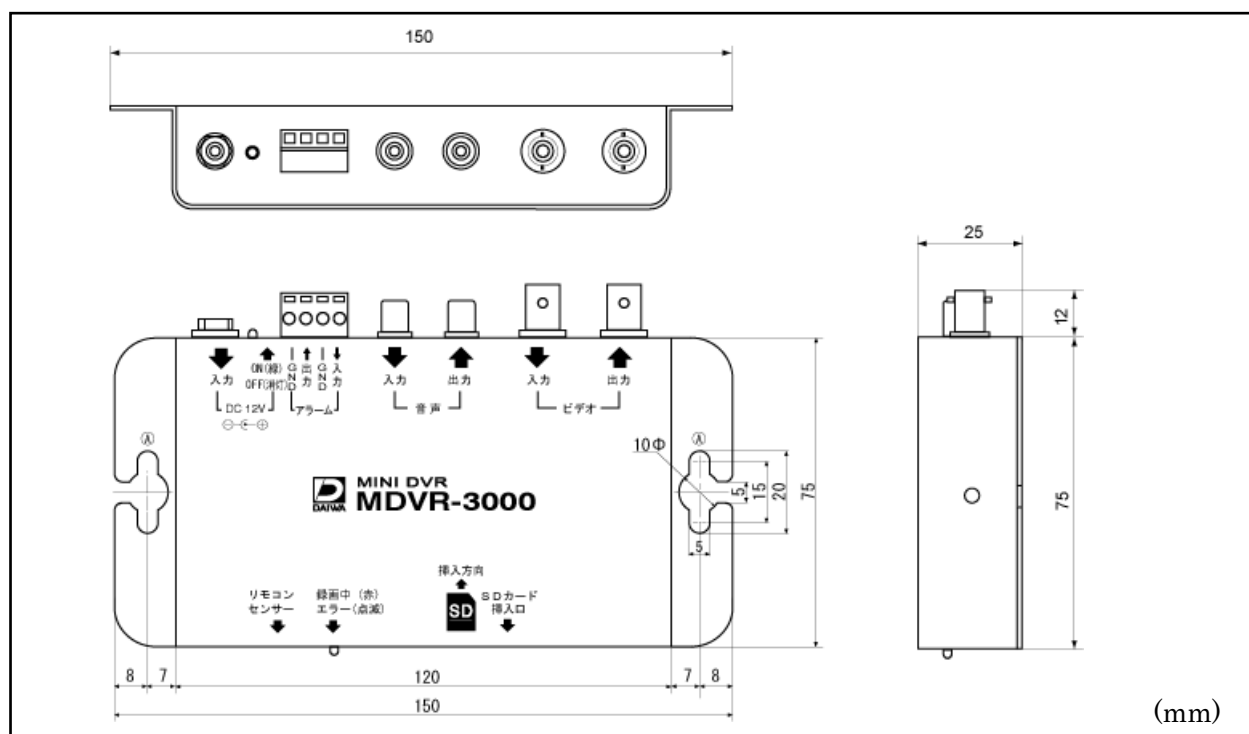
SDカード　128GB使用時の録画目安表（単位：時間）

解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
960x480	最高	85	153	257	350	424	606	624	642
	高	128	230	385	524	637	909	936	963
	標準	192	345	577	786	955	1365	1405	1445
720x480	最高	114	205	343	466	566	808	832	856
	高	171	307	513	699	849	1213	1249	1285
	標準	256	460	770	1048	1274	1820	1874	1927
360x240	最高	205	368	616	840	1021	1456	1498	1542
	高	267	478	801	1090	1326	1893	1948	2004
	標準	348	622	1042	1418	1731	2461	2533	2606

※ 録画できるファイル数は 90,112 ファイルが上限となります。

※ 上記表は目安です。被写体の状態により、録画できる時間は変動します。

■ 外形図

150
25
12
入力
DC 12V
アラーム
入力
出力
音声
入力
出力
ビデオ
10Φ
MINI DVR
MDVR-3000
DAIWA
5
15
20
75
75
5
挿入方向
リモコン
センサー
録画中（赤）
エラー（点滅）
SD
SDカード
挿入口
8
7
120
7
8
150
(mm)

■ テクニカルサポート

● お問合せ先

株式会社ダイワインダストリ

TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253

E-mail info@daiwa-industry.co.jp

● 受付時間

平日(月～金) 9:00～12:00/13:00～17:00

土、日、祝日は除く

本社･企画営業本部

〒146-0082 東京都大田区池上 3-36-6 TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253

URL http://www.daiwa-industry.co.jp

201501

■ 保証書

きりとり

購入日	年　月　日
モデル	**MDVR-3000**
お客様	ご住所 お名前 電話
販売店	店名・住所

保　証　書

1: 保証期間はお買い上げ月日より１年です。

2: 修理はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお出し下さい。尚、本保証書の提示がない場合及び下記の場合の修理は有料となります。

● 使用方法の誤り、または乱用による故障。

● 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。

● 天災（落雷、火災）による故障及び損傷。

3: 本製品は盗難防止器具、火災防止器具ではありません。本製品の正常・異常にかかわらず犯罪や事故が発生した場合の損害については当社は一切責任を負いません。

4: 本器の故障のために生じた２次的な事故は、保証いたし兼ねます。

5: 本製品の設置 (取り付け・取りはずし) などにより生じた建物等への損傷やその他の損害について当社は、一切責任を負いません。

株式会社 ダイワ インダストリ

■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6

〒146-0082 TEL:03-3755-5645(代) FAX :03-3755-2253